

大学生活のその先にある
社会人生活を体験

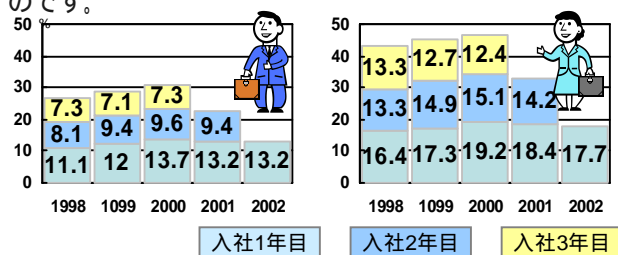
将来体験プログラム



- Q1: 「36.5%」 就職に関する数字です。これなんだか知っていますか？
- Q2: あなたは今までに対価を得て「働く」経験をしたことがありますか？
- Q3: あなたは将来就きたい職業が具体的にありますか？
- Q4: 年齢に関わらず実力次第でポストが決まる職場が良いと思いますか？

厳しい就職戦線乗り越え入社しても入社後3年までに**36.5%**の人が辞めています。何故だと思いますか？

就職直前になって、慌てて、「どんな会社を受けようか?」「どんな職業が良いか?」と考えるようでは、希望の職種につくことができません。希望の会社に入ったとしても、理想と現実とのギャップで悩むことが多くなるのです。



(資料出所)厚生労働省労働市場センター業務室

今から始めよう！
将来に向けたビジョンづくり。

大学生活は受験勉強から解放された「もっとも自由な4年間」です。しかし、漫然とただなんとなく過ごしてしまい、就職活動ではじめて社会へ旅立つための大きな壁にぶつかり後悔してしまう学生が多く見受けられます。

今回の「将来体験プログラム」は、高校時代に、仲間とのディスカッションや企業体験を通して、自分自身を見つめ直し、将来のビジョンを立て、それを実現するために非常に良い体験となることを保証します。



「将来体験プログラム」のポイント

1

「社会人って何だろう？」

ディスカッションを通し、大学生活の先にある社会人と学生とは何が違うのかを知ります。

2

「新会社を設立しよう」

日本ユニシス・ラーニング(株)オリジナルの教育教材であるPAC (Paper Cup Creating Company) を使用し、グループによる「紙コップの作成」という協働作業を行うことで、社会人(組織構成員)にはコミュニケーション・リーダーシップ・協調性などのスキルや目標達成への前向きなマインド(心構え)が必要であることの「気づき」へ導きます。企業の設立・経営方針の決定・(売上や利益などの)目標を持った企業活動 体験を通じて企業の存在意味とは何か、企業と自らの行動のつながりは何かを体得していきます。

3

「私のキャリアイメージ作成」

漠然とした将来のイメージを明確なものにし、大学進学の前にある「将来のキャリア像」を描く。実現に向けての目標と具体的な行動を立案します。

4

「自分への手紙」

22才となるであろう将来の自分(大学卒業時を想定)に向けて、今の思いを文章にしてみます。ビジョンのタイムカプセルです。



「将来体験学習」実施概要と内容



実施内容

スケジュール		体験学習の内容
1日目	午前 個人と社会と会社 個人が生きる社会とは 何だろう	<p>オリエンテーション 2日間の学習の流れを理解するとともに、絵による自己紹介を行います。</p> <p>ウォームアップ 「コミュニケーションゲーム」 初めての企業訪問で緊張した気持ちをほぐし、グループワークを開始します。</p> <p>グループディスカッション テーマ：「社会人って何だろう？」 「社会人と学生の違いとは何か」につき、グループでさまざまな角度から討議します。また、事前学習したライフ・ダイアグラムを振り返ることで、自分自身の原点を確認します。</p>
	午後 個人と社会と会社 「会社」を設立 社会の一員	<p>新会社を設立しよう 実際の企業活動の流れ・機能等を体験学習を通して理解するために「企業シミュレーション」を体験します。</p> <p>セッション 会社を設立しよう。 経営方針を作ろう。 組織を編成しよう。 経営目標を確認しよう。</p>
2日目	午前 実体験とまとめ 「会社で働く」	<p>セッション チームワーク、コミュニケーション、リーダーシップ、コスト意識など、会社で働くために必要な様々な知識があります。「新会社」の一員として行動することで、これらの知識を習得すると共に、自分の強み・弱みに気づくための作業学習を行います。</p>
	午後 実体験とまとめ まとめと将来設計	<p>私のキャリアイメージ作成と発表 自己分析をさまざまな角度から進め、自分自身の理解を深めます。漠然とした将来のイメージを明確なものにし、大学進学の前にある「将来のキャリア像」を描きます。実現に向けての目標と具体的な行動計画を立案します。</p> <p>自分への手紙を書こう 22才となった自分(大学卒業時を想定)に向けて、将来の抱負を文章化することにより、ビジネス体験研修での「気づき」を深め、2日間で学んだことを今後に活かします。</p>